

Application for Participation

Associated Schools Project(ASP) For Promoting International Education

Outline of the way the Project(s) will be implemented in the institution (please use extra sheets if necessary)

Description of the Project(プロジェクトの概説)

本校では、「子どもたちに輝く笑顔を」を目標に、児童への活躍の場の保障や決め細やかな支援を心がけ、教育活動おこなっている。また、子どもたちの思いや発想を生かした活動に加え、地域に根差した資源を有効利用し、様々な生活体験をさせていくための活動を実践している。これらの活動を通して、郷土を愛する健やかな子どもの育成を目指している。

今回、持続可能な社会づくりの担い手を育てるといった視点で、環境学習・福祉学習・歴史学習の進め方を見つめ直す。そして、学校と地域のかかわりをさらに密にし、地域の人々がさらに子どもたちにかかわっていく風土を醸成し、地域ぐるみの教育システムを構築する。また、ESDを確実に推進するために全教職員で学習を深めた上で、学習活動を展開していきたい。そして、「感じ、考え、行動する」ことで郷土を愛し、大切にしていこうとする子どもたちを育てていきたいと考える。

Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、ESDで育みたい力を「環境保全」と「地域のくらしと歴史」「地域のくらしと福祉」の観点から地域とのつながりを深めて、持続可能な社会の担い手を育てていきたい。自分たちの地域の環境やくらしと歴史を調べることで、地域に誇りもち、持続可能な将来が実現できるような価値観と行動力を培っていきたい。

そのために以下3つの活動で、次のように目標を掲げる。

(1) 伝統産業である柿づくりを通して培う環境保全学習

玉川校区の自然やそれを利用した産業に目を向け、自然の恵に感謝するとともに、未来の子どもたちのためにも自然を大切にしなければならないという価値観をもつ。

(2) 高齢者を対象に交流活動を主軸とした福祉学習

人権意識を高めるとともに、地域貢献や社会的弱者のためにすすんで働きかけようとする態度を養う。

(3) 地域の歴史学習

古代からの人間の存在や営みを追究的に学ぶことで、郷土について正しい認識をもつとともに、郷土を愛する気持ちを高める。

Execution (プロジェクトの実施)

(e.g. through a specially designed course, through an existing course(s) or as an extracurricular activity)

本校では、前述のとおり、ESDで育みたい力を「環境保全」「地域のくらしと歴史」「地域のくらしと福祉」の観点から学習をすすめている。自分たちの地域の環境や歴史を調べる学習を軸とすることで、今日的課題を把握し、解決に向けて行動できる子どもの育成や地域に誇りをもち、持続可能な社会をつくる資質や能力の基礎的な部分を育てることができると考える。

1.) ESD Continuing Program of Activities (Grade 5: Prototype)

Subject Area	Apr.	May	Jun	Jul	Sept	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar
Social Studies	Our Country		Life and Food Cycle							Life and Environment	
Science	Life Connections (Plants)		Life Connections (Killifish)		Life Connections (Seed)		The River and Our Lives		Living Things and The Seasons (Winter)		
Integrated Studies		Flower Picking		Fruit Thinning		Harvest	Selling	Presentation (Exhibit)		Turn Over Program	Fertilization
Event(s)		Zero-Waste Campaign					Tamagawa "Kids" Presentation				

2.) 伝統産業である柿づくりを通して培う環境保全学習

本校では柿畑を地域の方から借用し、柿の栽培を30年以上続けている。特に、5年生児童による摘蕾・摘果・施肥・苔取りなどの活動を通し、地域の自然や柿農家の思いにふれる学習を展開している。【写真1】

10月には、石巻中学校にて受験生の合格祈願のための合格柿贈呈式を行っている。また、11月には、児童や保護者に対し、柿の販売活動も行っている。【写真2】

これらの活動は、地域の自然を大切にしようとする気持ちを高めたり、地域に住む人々とともに生活していこうとしたりする気持ちを高めたりすることにつながっている。



【写真1】



【写真2】

3.) 高齢者を対象に交流活動を主軸とした福祉学習

ひわまり学級（特別支援学級）では、次年度のカレンダーを作成し、校区内の保育園や老人福祉施設等に配布をしている。また、大正琴による出張演奏会を行い、音楽を介し、心の交流を図っている。（写真3）



【写真3】

4.) 地域の歴史学習

「玉川史跡探検」と題し、6年生児童が中心となり玉川校区内に残る遺跡などの調査活動を行う。日本の歴史を学習し始めた子どもたちにとって、校区内の古墳や遺跡は魅力的である。関心を高



めた子どもたちは、総合的な学習の時間を利用し、馬越長火塚古墳や宮西古墳の現地調査を行う。(写真4) また、地域資料の読み取りや地域の古老から話を聞くことで、自身の設定した課題を明らかにしていく。また、御所や高井、玉(珠)川等の名称の由来が、南北朝時代にあることに気づいていく。

地域の歴史学習を通し、中央史に深く関連する地域の史実の存在を確認し、歴史的な観点から地域への誇りを高め、愛情を深めていく。

Type of materials to be used(使用する教材)

- ・柿の木
- ・大正琴
- ・「校区のあゆみ 玉川」玉川校区編集実行委員会 2006

Is there any type of evaluation to examine the effects of the projects on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

- ・プロジェクトにかかわる活動については、児童の主体性を大切にするため、毎時間個々の児童による自己評価を実施する。
- ・柿の栽培活動では、環境面や勤労面に関する認識の向上に加え、玉川の伝統を大切にしていこうとする態度面を評価する。
- ・福祉交流では、他者理解に加え、再度自己理解を促し、共生の認識の高まりを評価していく。
- ・地域の歴史学習では、中央史に関連する史実の発見を通し、郷土への誇りや愛情の高まりを評価していく。

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

2013年12月25日

Date (日付)

豊橋市立玉川小学校 校長 谷中 智典

Principal's name(校長名 (※直筆))

Position,(役職) Principal

Institution's name (学校名) Tamagawa Elementary School